

海外安全対策情報（令和2年4月～6月）

1 社会・治安情勢

ベラルーシの治安は、おおむね良好ではあるものの、過去には爆発事件やショッピングモールでの通り魔事件も発生しています。不測の事態を避けるため、多くの人が集まる記念式典やコンサート、集会等においては十分に注意が必要です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2020年1月1日から6月30日までのベラルーシにおける犯罪総数は39,107件で、前年同期と比較し12.6%減少しています。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

ア 窃盗13,558件（前年比9.0%減）

（うち住宅対象侵入窃盗）4,016件（同1.4%減）

イ 公然窃盗673件（同11.2%減）

ウ 恐喝189件（同127.7%増）

エ 詐欺1,957件（同13.8%減）

オ 暴力犯罪1,807件（同26.7%減）

カ 殺人及び殺人未遂152件（同2.6%減）

キ 重傷傷害405件（同8.0%増）

ク 強盗45件（同23.7%減）

ケ 強姦及び強姦未遂36件（同41.9%減）

（2）邦人被害事案は報告されていません。

（3）2020年4月～6月における主な被害事案は以下のとおりです(当地の報道から作成)。

ア 4月4日、ミンスク郊外のオートサロンで、修理依頼のあった車の点検中に、従業員が、車の下から手榴弾に似た物体を発見した。すぐに爆発物処理班が到着し、居合わせた人は避難した。爆発物処理班は、手榴弾に似た物体を回収し、無効化した。捜査班は車の検査、押収された書類と監視カメラの映像の調査、オートサロン従業員と車を運転していた女の捜査を進めている。

イ 4月6日、ゴメリ州レチツキー地区コージエ村で、83歳の男性が金銭盗難にあった。3人の女が男性の自宅を訪れ、体調や体温を確認し、コロナウイルスの予防接種をするよう勧めた。男性が拒むと、女性は予防接種を拒否する旨を書面に記すよう求め、立ち去った。

女が去った後、男性が預金を確認すると 750 ベラルーシルーブルがなくなっていた。女達は男 2 人と一緒に村から 30km 離れていたところで間もなく拘束された。

ウ 5月7日、グロドノに住む 1990 年生まれの男性が、カード 2 枚から計 4600 ベラルーシルーブルを騙し取られた。被害者に対し、銀行職員を名乗る人物から、カードから 70 ベラルーシルーブルの引き落としにあたり、カードの番号と有効期限が必要である旨の電話があった。処理をキャンセルするためには、インターネットバンキングの個人情報と SMS 確認コードが必要であると言われ、この男性はすべての情報を教えてしまった。警察は、現在の疫学的状況を背景として、架空のコロナウイルス対策基金への振り込みや、保護具購入のためなど詐欺の事例が多くなっていると述べた。

エ 5月7日、ミンスクで 1995 年及び、1996 年生まれの男 2 人が、男性から 2300 ベラルーシルーブルを騙し取った。iPhone11 Pro Max の購入を希望するインターネット広告に対して、犯人の男 2 人は他のオンラインショップよりも遙かに安い価格を男性に提示した。犯人は購入者がミンスク在住であると知りながら、レペリ市に商品を受け取りに来よう提案した。購入者の男性は自身で行くことを拒否し、ノヴォポロツク在住の友人が取りに行くことで合意した。男性の友人はレペリ市で行き売り手と会い、商品の包装が完全でメーカーのシールがあることも確認し、支払いの上で、ミンスク行きミニバスの運転手に託して購入品を送った。ミンスクで購入者の男性が包装を開封すると、箱から挽き割り小麦が出てきた。犯人は既に拘束されている。

オ 6月9日夕方、ミンスク市アルタイ通りで酒に酔った 41 歳のタクシー運転手がコントロールを失い、駐車場のフェンスに衝突した。この事故による被害者はいなかった。タクシー運転手の呼気から高濃度のアルコールが検出された。内務省によると、飲酒運転の場合は、3 年間車両を運転する権利が奪われ、約 1350 から 2700 ベラルーシルーブルの罰金が課される。1 年以内に同様の違反を繰り返した場合、刑事責任を課され、車が押収される。

カ 6月26日、ミンスク在住の 32 歳の男が一連の窃盗の容疑で拘束された。被害者によると、①約 1 ヶ月前にギャンブル施設付近でバッグをなくした男性は、バッグは戻ってきたが、400 ベラルーシルーブルが盗まれていた。②5 月には酒に酔ったギャンブルクラブの客がポケットから 150 米ドルをすられた。犯人は被害者の注意を引くために 50 米ドルを床に落としたが、残りの 100 米ドルを盗んでいた。③知人女性と一緒に出かけた後アパート入口で別れのキスをした際、女性の首から宝石の付いたネックレスを盗んだ。④更に、救急車で病院に運ばれた患者は、車に誰もいない時に中に乗り込み、コートポケットから 260 ベラルーシルーブルの入った財布を盗んだ。捜査官はこの男を窃盗罪で告発した。被告は今年既に同様の罪で裁判にかけられており、2 年間の「自宅にいながら各種制限を受ける刑」

を課された。これまでも、財産に係る犯罪でも刑事責任を問われていた。

3 テロ・爆弾事件の発生状況

なし。

4 誘拐・脅迫事件の発生状況

なし。

5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述の事案は全体の中の一部の情報です。定期的に報道などを確認し、自身の安全確保に努めてください。